



水産実習

スモークサーモンを作りました

10月15日(土)に、天売学の一環として、スモークサーモンを作りました。燻製づくりは、5月に行われた赤ガレイ、タコに続いて今年3回目。材料はベニザケを使用し、すべて手作業で行われます。

作業はまず、マキリを使い、うろこをきれいに取り除き、三枚におろして魚体を洗浄します。続いて、調味料(塩、ローリエ、香辛料等)とともに水の入った樽に一日漬け込んだ後、網に広げて乾燥と燻煙の作業を交互に繰り返します。



今年はサーモンの脂ののりがよかったためか乾燥に時間がかかりましたが、その分旨みが凝縮した美味しいスモークサーモンに仕上がりました。



10月21日(金)には最終工程の中骨除去、そして真空パック詰めが行なわれ、すべての作業が終了しました。



生徒は、「ピンセットで1本1本骨を抜く中骨除去作業がとても気持ちよく、楽しかった」「美味しく仕上がってよかった」などの感想を述べるとともに、実習を終えた達成感にひたっていました。



全道水産クラブ努力賞受賞

「作ろう！天売の名産品」

11月8日(火)、9日(水)、厚岸にて開催された第36回北海道高等学校水産クラブ研究発表大会に本校を代表し、3年生の泉谷一貴さんと1年生の宮地司くんが参加してきました。研究テーマは「つくろう！天売の名産品」です。



豊富で新鮮な天売の魚介類を使って新しい名産品ができないか。天売で獲れる魚を使いながらも島民の方々があまりやらない調理方法で何か食品を作り、それを島の人に提案して、天売ならではの名産品に発展していけないか。そう考え研究を行いました。天売高校では3年ぶりの食品を扱った研究でした。

全道大会に先立ち、10月29日(土)の水産クラブ校内発表会で、島の人たちに発表を聞いていただき、授業で作ったさつま揚げを試食してもらいました。様々な

試行錯誤の末に完成したガヤやハチガラを使ったさつま揚げは島の方にも好評でした。そのときの意見や感想をまとめてこの研究の成果として全道大会で発表し、努力賞を受賞することができました。



この受賞は、大会当日の上記生徒2名の発表の良さとともに、それまで研究に携わった全校生徒5名の努力のたまものです。



今年度の研究を終え、泉谷一貴くんは「研究とともにプレゼンテーション原稿の作成は大変だったが、少ない研究時間でよく頑張った。」と振り返りました。

今年度最後の水産実習

サケ缶づくりに挑戦しました



11月1日に今年度最後の水産実習、サケ水煮缶作りを行いました。生徒は1人1匹ずつ大きなシロザケをさばきました。

最初にうろこを取り、頭を落として内臓を除去した後、5枚おろしにします。その後でサケの身を缶に入るサイズに切り、缶に詰めて製缶を行いました。

後日、製缶した缶にラベルを貼り、387缶分のサケ水煮缶が完成しました。



高校生活最後の水産実習となる3年生は、感慨深い面持ちで丁寧に作業に臨み、「今までで一番上手にさばくことができた」、「最後の水産実習で失敗なく終わることができてよかった」と感想を述べていました。生徒はまでの水産実習を通して成長を実感できたようでした。

学校開放講座①

「Kids English」



11月5日土曜日、本校にて学校開放講座「Kids English」を開催しました。講師は本校英語科の鈴木教諭です。遊びを通じて英語に慣れ親しむという目的で、すごろくを使って体験的に英語に触れる活動を行いました。保育園児から小学6年生まで計10人の子どもたちが集まり、ゲームをしながら英語を学びました。

子どもたちはサイコロを振って駒を動かし、止まったマス目に書かれている英語の指示に従って、体を動かしたり絵を描いたりしました。

講座の終わりには、家庭でも英語すごろくが楽しめるよう、実際に使用したものと同一内容のミニ英語すごろくシートを配付しました。

ちびっこたちはゲームで盛り上がりながら英語に親しみ、とても楽しくためになる時間を過ごしました。

学校開放講座②

「eラーニングを使って勉強しよう」

11月12日(土)学校開放講座「eラーニングを使って勉強しよう」を行いました。講師は本校数学科の山本教諭です。

参加者は、小学生と中学生が1名ずつでした。千歳科学技術大学で開発されたeラーニングを使って、使用方法やLMS(学習履歴)を利用した効果的な勉強方法など学びました。

インターネットに接続されたパソコンがあれば、いつでもどこでも勉強できるため、勉強がわからなくなったところまでさかのぼって、誰にも知られずこっそり勉強できるというメリットがあります。

教材は数学(算数)・理科・英語・ドイツ語・中国語など多岐にわたり、小学校3年生から大学生までの教材がそろっています。参加者は、家でもパソコンで楽しく勉強できそうなので、ぜひ使ってみたいと話していました。



～図書係から～

新刊入荷しました!



短編集『はじめての文学』が、新刊として仲間入りしました。「本を読みなさい」と勧められても、どれを読んでもいいのかわからない。そんな読書初心者にも、特におすすめの本です。学校にあるのは、よしもとばなな、浅田次郎、重松清、宮部みゆき、山田詠美、村上春樹、川上弘美、桐野夏生の8冊

です。名前は聞いたことのある有名な作家、あるいは中学生や高校生が教科書で読んだことのある作家がそろっています。

手に取って読めば、読書好きになるかもしれません! 短編集なので、飽きやすい人にぴったりです。天売高校にお越しの際は、ぜひご覧ください。